東大阪商工月報2016年8月（No.774）に古家（空き家）再生の事を掲載いただきました。

こんにちは。
カラーズバリュー事務局です。

東大阪商工会議所さまが発行されている「東大阪商工月報2016年8月（No.774）」に古家再生の事を掲載いただきました。（ありがとうございます。）

平成28年8月1日発行

東大阪商工月報

2016
8
No.774

■企業レポート　気になる 東大阪の“旬の”企業 〈10頁〉
■産業天気図　円高進行を懸念　先行き不安根強く 〈20頁〉
■事業案内　今後の会議所事業等のご案内 〈23頁〉

東大阪商工会議所
http://www.hocci.or.jp

空き家対策特別措置法の施行により空き家への関心が高まっている

記事内でも記載していますが、「空き家対策特別措置法の施行」により全国的な空き家への関心が高まりつつあります。

当社も（社）全国古家再生推進協議会
の認定工事会社として、さらなる空き家対策を実施していきたいと思います。

気になる 企業レポート

東大阪の“旬の”企業

東大阪の中小企業の中には、高度な技術力や時代と顧客のニーズに的確に対応した取り組みで付加価値を積極的に高めている企業が多くある。

それらの取り組みに奮闘する最近、元気な“旬の”本所会員企業を紹介する。

樹脂と金属の高精度複合成型技術で がんばる企業300社に選定

㈱アテックス

代表取締役　浅野　典成　氏

（業　種）プラスチック製品開発製造
（所在地）東大阪市加納3－13－15

1993年、主にプラスチック製品に使用される熱可塑性樹脂の射出成形・加工で創業。日々進化する携帯電話の主幹部品の開発を中心に大手企業と連携し、浅野社長の提案力や技術力の高さが評価され、新規顧客が拡大してきた。

転機は国内最大手の自動車メーカーが市場投入した初代ハイブリッド車のPCU（パワーコントロールユニット）ケースに同社の一体成型技術が採用された事。その後、国内メーカーが販売するハイブリット車やEV車向けの蓄電用モータ、走行用モータ等を制御するPCUケースの開発・製造を請け負った。

現在、LCP（液晶ポリマー）を材料に、金属と一体成形する技術を確立。海外の自動車メーカーも興味を示し、EV車の共同開発が持ち込まれている。

「自動車を人がハンドルを握らず自動運転する研究が進んでいますので、これからは自動運転を支えるセンサーのユニット開発に注力したいですね」と浅野社長は話してくれた。

▲独自成型技術を活用した高精度なパワーユニット

世界的品質基準をクリア 8K放送スクリーンの実用化へ

㈱イーストン

代表取締役　東田　吉蔵　氏

（業　種）環境衛生システムの開発製造
（所在地）東大阪市高井田3－3

ホームシアターの世界的な品質基準と言える「THX認定」を国内で初めて取得した同社は、このほど、課題であった230インチ以上の大型スクリーンの開発に成功。

転機はスクリーンの大手メーカーが幕面に塩ビ素材を使う中で、環境に配慮した非塩ビ素材を使用した事。創業以来、長年にわたる研究開発の吉良、リサイクル原料を利用した非ハロゲンの繊維素材を開発し、幕面に塩ビ素材を使用したオリジナルのスクリーンが完成した。東田社長は「長年にわたって映画製作者の意図を忠実に再現する高品位な映像性能と音響透過にこだわり続けた成果」と話す。

今後は、2020年の東京五輪を念頭に、世界で初めての8K対応スクリーンの実用化と普及に向けて事業展開を目指している。

「今年の1月にリニューアルオープンしたNHK放送博物館にある、愛宕山8Kシアターには、弊社の8K対応スクリーンが設置されています。東京に行かれる際は、お立ち寄り頂き、その圧倒的な臨場感を是非堪能して頂きたい」と東田社長は目を輝かせている。

▲世界的品質基準をクリアしたスクリーン

民泊需要も「塗装技術生かし」 「古家再生」に応える

㈱オークマ工塗

代表取締役　大熊　重之　氏

（業　種）塗装・樹脂製品表面塗装及び改装
（所在地）東大阪市布市町3－2－57

工場内にクリーンルームを構え、自動車などの部品やシリコンやポリエチレン等にも塗装の幅を広げている同社が「古家」再生に取り組んでいる。きっかけは、築古マンションの室内改装の依頼。部屋様式はそのままに内装をカラー塗装に変えてリノベーションしたところ、空室だった物件に入居が決まったという。新たな事業を模索していた頃でもあり、大熊社長は「苦情が出かねない築古物件の活用に困っている所有者が多くいることが分かった」という。これを契機に関連会社を通じて、築古物件にカラーイメージによるリノベーションを施し、賃貸仲介の斡旋まで手掛ける「ルームリファイン事業」を展開。既に戸建・マンション計約600戸で実績を上げてきた。

このノウハウをもとに「ルームリファインスクール」も開き、低コストで空き部屋修繕ができる古家再生士を養成している。また一昨年には、築古不動産の再生から収益化までを指導する（一社）全国古家再生協議会を発足。今年2月の「空き家対策特別措置法」施行で、全国的な空き家への関心の高まりもあり、現在900名が加盟。WEB講座も開き、東京、大阪に加え、今年から名古屋にも拠点を設けて活動に弾みをつけている。

ラグビーW杯日本大会や東京五輪を控え、「民泊の受け入れ先として、空き家となっている古家を宿泊施設に活用する需要の可能性」を大熊社長は感じているという。

△古家再生研修で空き家活用白書ルーム講義

11　東大阪商工月報 2016. 8

東大阪商工月報 2016. 8　10

もし、今現在、空き家をお持ちで

- **リフォームしようか悩んでいる・・・**

- 物件が売れなくて困っている・・・
- そもそも活用方法がわからない・・・

そのようなお悩みをお持ちの方がいらっしゃいましたら
是非、当社までご連絡ください。

詳しくは、こちら
誰も住んでいない古家（空き家）をお持ちの方は必読